



國性齋時觀天集記

二

特  
373  
2



木喜

玉燈籠の影を愛此

竹石其疎

二之老月琢

梅人梅  
谷味村の浦の唐紙

長江の舟の影を愛此

遊覧の舟の影を愛此

舟の影を愛此



門 18  
號 173  
卷 2

本喜



旅人持  
谷吹付の浦の唐船

二之巻月録

五世蘇明親王日記

作者其蹟

去清比曹の文の字の候に  
院言

惣書に去法入誓古場武藝  
和後内

車坊の飲  
七の次心乃濁酒

和漢調合親ハ唐人冬子ハ和菜也

子けお女懐子ハ二葉より芳

梅檀白

春竹巻びかを就かきかろ胸の一年

押掛若ハ振出ハ虫さう大豚ハ油と

石新ハ子胤ハ生盛菜もハ味郷

力足踏びて立股虎背中子新ハ男

四百屋列と腰ハ竹无一宿早ハ乃残

ふはよ川大娘ハ子ハ唐ハ子け娘

旅人ハ仕合吹付ハ浦ハ唐船

世次浮船の海跡とさありさめぬから枕かるとさささ小漂

洵せとさ平江ハ浪ハ袖を冷せん曲浦の月ハ音ハ傷事ある

さゆれとハ梅檀を女ハ面堂ハ團鏡也とさささおハ何ハも言と

みささうハ筆敷の甲ハ後江ハ海身とまるとハあまの友女ハか

つらとさせめハ海身ハ何ハつらとさささ小あまのけりハ漢郎ハ葉の

舟中ハ海身とさささねハ且書ハ江津とさささらハ妻ハ

地とささささる。海とハ廻とあまとととあまハ何ハ海身ハ大目

本肥前ハ本補船ハ平戸とハ小浦ハ吹つとささささ海

濱のささささる。さささの海ハ海と家とさささハ何ハ令稀

ありさ。梅檀女ハ海とさささとさささめと袖とさささ。浪風ハ

















くまがたまはておる内ふるまるといふことありてはむと立り

和漢北個合親の唐人参子と和漢書

和漢書文苑一官名は芝苑字の灑弘泉州府の晋江縣石  
井此人を交と能勝といふ社子の附あり勇と好んで別強余  
詔なり大明神宗皇帝につく忠勤といひて代さう  
はつと思宗烈皇帝嫡姫と好むの郎芝苑と名付とあり  
んで進叙し孫ももつとく唐とまつと日本にまら肥前  
松浦をか守しありぬ孫産れ長く姫と嫁一人れ子をとりけ唐  
云和國の支奴物件よ出生まつり子あるれをも和漢内とあり付  
まらば若幼少より力も余れ人よま成人おまらひよく  
勇猛盡ありて軍機忠孝兼る者たれのおよあはわらひ

かちの派家と興えん道徳の善と父一官ありてその善育せり  
御うにむなむとわらうと古者の妹とせん皇女和漢内といふ  
り是兼屋よわとせむしは和漢といふれ二の事くつりなり  
父子兼小寝食とまはれ是兼軍とありとあり父老一官攝政と  
んく和漢内と傳といひて我とくまらむ内軍二千里  
先を利ありといふとまらうとまらふといひて是れ善画と考え  
めといひたれ和漢内とつとあり一美一千里とありあり利  
ありて大明國を安んずりありあり二ありの彼漢軍法の傳れ  
ありて水と去とかりんはあり水と去と去と今此の好のあり  
まらむ日本此地とありてとの善と我とありて和漢の善ありて  
和漢書此也坤上坎下卦卦陽とく和漢を統るとありて我

一身を以て救方跡に軍共を以てつらなる大將散おれさす御に  
ふく田中の地を以てく。南京の事より。其の御座てあら  
異二種と軍共を命を奉り臨天の職を以て侍り。軍共を  
継親(送)を以てし。その御代を以て御代を以て御代を  
おきん事。お座向が御代を以てし。その御代を以て御代を  
を以てし。その御代を以てし。その御代を以て御代を  
らと。その御代を以てし。その御代を以て御代を  
女は御代を以てし。その御代を以て御代を  
なり。分ふ由の御代を以てし。その御代を以て御代を  
お役もわたり。その御代を以てし。その御代を以て御代を  
を以てし。その御代を以てし。その御代を以て御代を

此子軍が竹を以て再々せん。其の御代を以て御代を  
姫を以てし。その御代を以て御代を  
おり。その御代を以てし。その御代を以て御代を  
御代を以てし。その御代を以て御代を  
つひに女を以てし。その御代を以て御代を  
御代を以てし。その御代を以て御代を  
乃軍人。其の御代を以て御代を  
史。其の御代を以て御代を  
御代を以てし。その御代を以て御代を  
玉清川の御代を以てし。その御代を以て御代を  
都を以てし。その御代を以て御代を









此乃虎の半の肉と云ふ事なりと云ふに  
 後者より先くたうしと云ふは虎の  
 其の虎に於ては虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに

此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに

古郷乃子胤の生霊業花の地郷

此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに  
 虎と云ふは虎の尾のしるしに  
 一折あり此乃虎と云ふ事なりと云ふに



天下下とくを李倫夫が引今七難難の夷れ奴とらつりやうのま  
らる考えを君ととめんやうとす。残さる忠臣兵三推つ生死れあり  
かえ志れまじい何とあく義忠をあらんかかりりやう要害の地ふ一機と  
ららら捕獲つるに洞黄もあつとどかんと例也せらるれを多めつ  
たあつ事あり。我昔日少由とま途日中一箇の時二歳ふぬ一始の子  
と乳母う種と捨てしつ母の産ありと南産ふ死とらうふ種子とさひ  
は女子成人志く今又常軍耳輝といふ大に一城をれ書とあう。あつ  
名れつて今もあ親とまてらありく。始と水引と共輝の耳輝とま  
くとしたのまらばば子雲が竹の行程八千金雲と経て種子と樹とい  
ふしと耳輝の生れつとわれが方へいたのんでんんと母和成回らんを  
耳輝が恨とまてら。耳輝が要害種子と樹とまらふとあて所の

白雲考とらるる谷さうりやうあ初のまらるるをさうり九初らるるを  
まらりてわらう事十八町岩を切く堀とらとらとらみく堀とせり堀  
れあ監と似く縄とらうとくま黄河よりまて入揚門して堀り矢  
撲るふ君とまあるく。あふ石大矢とまけとまといひけおをま  
んを擧ひ日中自別ぬ要害ありまらるの二官事まおまてむ乱せ  
とあひがらうとまびと用ひ去程の事まら何といひ入らるとま  
ゆりく五次進とまてとああぬありいうせんともたれ元来和成回を  
堅とま研く要害の士たと鉄門とままといまてかまひのまて  
まをまらう要害のまびとまてとまてとまらうとまら白をせつり  
つ三舟れかみらうとら。座中う能るりとまらうとら。座をまらん  
ららねば門とまてとら。大お耳輝と對面とまら。時方またのまら

やまぬまをぬあつこころれを養まきりやとらむべしをむらむら  
 べりし方勢地ゆふあもくつらつてひつらむにけし城をむつらふかま  
 る日本まへんがみどし親を頼まきり日本れあまの親をとい  
 るともおひるとも根をたせし事もあたらぬがゆふゆふあま  
 ちとしくいふ事あれあまのあつらふれせれけらとあつらふて  
 ちと和國まへのいひひあまあまふかきんとさひあつとに宿さしとあ  
 むらつらりおあ内定まへの勇まとのむい近まの勇まとて大おあきあふ  
 こあもふ人神のまのまふ取頂おのまはなけい今も勇力ありつれ大の  
 忌部あひ弱まへてまに祖まおまひつらふ小天下とさうまて鳥江ふ  
 て討死と我おあはれあふあふたふんの大敵と攻やかり大湖の伏代  
 小久えんと大敵とあつらふあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

短智をそむおれそぬあそれ方率ゆあまておあゆじとらいつま  
 又考軍身輝とらおれあおまを待あふらんあくをやまの事れあ  
 らぬまらるくともまおまはじとまに知よはつま大言とま  
 軍身輝ふはと後やな事あり用つくと門とまこまにさかん高書  
 乃無さあまふま思身輝ふはまはあふまてと約束ありおはあり  
 油たれねまわつら。まあふらそれありまにをて油はし神城の言  
 招きあつらうまにせし何あられ推承あお親者とま後とまおそれま  
 ぬあまふかこいのおふらけとら宿まあふらあて。あつらひつてま  
 事あふらま身輝ふはまらるふら内定まの親まあふてま日か  
 ありまらり考一宿とらあふらひひかてんのまら。ま高らてま  
 あれい高書をまらまらなむらおはせし勇いけりま方い  
 一  
 一  
 一  
 一

との事あらばお徳をいかにぞと。因りくと。御いづれ。母輝の事  
 錦祥女。橘門よりけり。日本人とあれは。あつし。自然の心。  
 情あり。をけり。事り。あつし。ひそけん。あまさく。色。あつ  
 ち。人。く。今。天下。ま。難。難。大。ま。あ。び。に。叙。書。其。輝。も。大  
 王。幕。下。居。し。は。城。と。あ。つ。り。ち。り。終。り。対。言。る。い。は。境。に。ま  
 かり。用。心。を。使。り。し。ら。も。和。平。の。事。あ。つ。り。あ。ま。さ。た。い。れ。れ。用  
 ん。れ。言。る。い。は。あ。の。く。の。獲。り。あ。つ。り。あ。ま。さ。た。い。れ。れ。用  
 入。れ。れ。あ。ま。さ。た。和。平。の。情。け。り。あ。つ。り。あ。ま。さ。た。い。れ。れ。用  
 ら。と。と。同。心。あ。ま。さ。た。一。宮。の。り。あ。つ。り。あ。ま。さ。た。い。れ。れ。用  
 子。又。也。書。前。ま。つ。り。三人。あ。つ。り。あ。ま。さ。た。い。れ。れ。用  
 如。乃。梁。も。く。廣。く。と。つ。り。あ。ま。さ。た。い。れ。れ。用。錦。祥。女。つ。り。あ。ま。さ。た。い。れ。れ。用。

日本より。ま。つ。り。あ。ま。さ。た。い。れ。れ。用。錦。祥。女。つ。り。あ。ま。さ。た。い。れ。れ。用。





